

# 令和4年度 柏市立光ヶ丘中学校 学校経営方針全体図

学校教育目標 **豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる生徒の育成**

生活三本柱 **挨拶 ・ 時間 ・ 清掃**

目指す生徒像 目指す学校像 目指す教師像	<b>自ら考え正しく判断できる生徒</b> Concept (見通す力) Challenge (挑戦する力) 「夢」が育ち、「夢」を実現できる学力を育成する学校 常に研修に励み、教科指導力、生徒指導力の向上に努め、チームで協働できる教師	<b>心豊かで思いやりのある生徒</b> Communication (関わり合う力) 互いに尊重し合い「思いやりの心」を育成し、地域に信頼される学校 人間性・社会性に富み、生徒、家庭及び地域に信頼される教師	<b>心身ともに健康な生徒</b> Control (自律する力) 挨拶や歌声が響き、清潔で安全安心な「楽しい」学校 生徒理解に努め、生徒とともに協働できる教師	仲間づくり・リーダー育成・感謝の心の育成 4つのC 【仲間づくり】・・・宿泊学習を中心に <校外学習(1年)> ○部会、班などの活動を通し、準備活動の方法を学び、協力して活動し、協働活動の喜びを知る。 ○グループ活動の定着を図る。 <林間学校(2年)> ○すばらしい自然に触れながら、学年、学級の仲間との交流を図る。 ○部会、班などの活動を通し、より自主的な自治活動へと発展させる。 <修学旅行(3年)> ○古都の伝統や文化に触れ、現地の人々とのふれあいの中で仲間との交流を深める。 ○自主的・自立的な活動を確立させる。 【リーダー育成】・・・生徒会活動を中心に <生徒会活動> ・生徒会主催行事(新入生歓迎会、生徒総会、三年生を送る会など)の企画立案、運営を通して、主体的に動ける集団を育成する。 ・生徒会活動の課題を自分たちで見つけ、課題解決に向けた取り組みを行う集団を育成する <委員会活動> ・委員会活動の課題を自分たちで考え、解決に向けた取り組みのできる集団を育成する。 <体育祭> ・学校、学年、学級の団結を図る取り組みを企画運営する。 ・他を思いやり、協力する姿勢を育む。 <文化祭> ・伝統を継承し、文化的活動の発表の場としての取り組みを企画運営する。 ・合唱を通して、仲間と協力した取り組みを実践させる。 <部活動> ・部長を中心とした自主的に活動できる生徒の育成を図る。 【感謝】・・・歌声活動を中心に <入学式> ・中学生としての自覚、先輩としての自覚、合唱を通して、親への感謝の気持ちを伝える。 <行事> ・新入生歓迎会、三年生を送る会を通して、歓迎と感謝の気持ちを歌声で伝える。 ・合唱コンクールを通し、仲間との協力による、達成感と互いの取り組みに感謝する。 <卒業式> ・卒業生は、母校への誇りと周囲への感謝を伝える。 ・在校生は、先輩の門出を祝福し、感謝の気持ちを伝え、伝統を継承する。
----------------------------	---	---	---	--

今年度の重点 取り組み事項 ■は重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自ら学びたい授業実践</li> <li>学習支援が必要な生徒への計画的な指導実践</li> </ul> <p>1 授業力向上プラン</p> <p>(1)「光中スタンダード」のステップアップ</p> <p>①ICT活用の工夫</p> <p>②学習5つの約束の徹底</p> <p>(2)教職員自己評価と授業評価の実施から授業改善を図る</p> <p>①授業評価の徹底～PDCAサイクル～授業改善</p> <p>②積極的な自主公開授業の実施による、他教師からの評価、改善</p> <p>③交互授業参観の実施による他教師から学ぶ授業改善</p> <p>■(3)「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>①GIGAスクール構想による「ステップ2」への移行を図り、よりICT機器、教材の積極的な活用による興味関心を引き出す授業の工夫</p> <p>②全教科図書館活用を図り、調べ、深める授業の工夫</p> <p>③ペア、少人数学習等、協働による教え合いを含めた自己の考えを広げさせる授業の工夫</p> <p>2 基礎学力向上プラン</p> <p>■(1)学年体制で日常的な学習支援→学級優先日の活用</p> <p>①日常的に質問ができる体制作り</p> <p>②定期テスト前補習の計画的な実施</p> <p>③長期休業を活用した補習の計画的な実施</p> <p>■(2)光中タイムの有効活用(読書→課題)</p> <p>①各学年で統一した課題の計画的な実施</p> <p>②タブレット活用による補充学習(ライブドの活用)</p> <p>(3)教科部会の充実</p> <p>①基礎基本定着のための工夫を教科部会で検討</p> <p>②各教科授業アンケートの実施(年度当初)、教科全体で共有し、授業改善につなげる</p> <p>③定期教科部会の実施(駒組の中及び教科の日設定)</p> <p>3 キャリア教育推進プラン</p> <p>(1)卒業を見通したキャリア教育の計画・実施</p> <p>①キャリアパスポートに関しての教職員の意識改革及び意識の向上</p> <p>②発達段階に応じたキャリア教育の年間計画の見直し及び作成</p> <p>③将来の夢、目標に向けた取り組みの策定</p> <p>(2)キャリアパスポートの有効的な活用</p> <p>①キャリアパスポートの活用方法を知る</p> <p>②小中高等学校の連携を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師と生徒、生徒相互の信頼関係の構築</li> <li>多様な生き方を理解し合える「心」の育成</li> </ul> <p>1 教育相談充実プラン</p> <p>■(1)定期教育相談の充実とびアンケートの精選</p> <p>①各学期1回の定期教育相談の完全実施</p> <p>②いじめ及び生活実態アンケートの定期的な実施</p> <p>■(2)日常の変化を見逃さない「帰りの会の充実」及び「生活ノート」を活用した生徒理解</p> <p>①帰りの会を充実させ、生徒との関わりを多く持ち、日常の変化を見逃さない。</p> <p>②「生活ノート」を効果的に活用し、紙面上で会話を楽しみ、日常生活の様子を知り、生徒の内面に迫る</p> <p>(3)自他を尊重した思いやりの気持ちの育成</p> <p>①「道徳」、「学級活動」で、思いやりの気持ちを育てる指導を実践する</p> <p>②日々の学級経営で、一人ひとりを大切にする学級づくりを目指す</p> <p>■(4)サポート(特別支援、不登校等)を必要とする生徒への全校体制での指導計画と共通理解</p> <p>①特別支援教育の推進と理解(研修会の必要性)、生徒支援会議の定期的な開催と情報共有</p> <p>②学習相談室の計画的な運用とチーム全校で取り組む不登校対策</p> <p>2 地域に愛される開かれた学校プラン</p> <p>(1)学校行事、授業参観等の積極的な学校公開</p> <p>学校行事、授業参観、学年行事を合わせ、月一回以上の公開の実施</p> <p>(2)家庭との連携を密にした保護者との信頼関係</p> <p>定期的な面談や保護者会だけでなく、電話つながる連絡を活用し、些細なことでも連絡を取り合い、信頼関係の構築を図る</p> <p>(3)学校ホームページを活用した積極的な情報公開</p> <p>HPの更新を随時行い、学校行事だけでなく、日常の生徒の様子やお知らせ等も掲載する</p> <p>(4)「つながる連絡」を活用した「たより等」の積極的な配信</p> <p>■(5)密接な連携による地域で育てる生徒</p> <p>①R5実施に向けたコミュニティスクール構想</p> <p>②地域行事への積極的な参加</p> <p>③地域への貢献(クリーンデーの実施)</p> <p>④地域への依頼(地域人材の活用、ボランティアの募集、パトロール)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立と健康安全な生活</li> <li>生徒による生徒のための自治的活動力の充実</li> </ul> <p>1 生活の三本柱「挨拶・時間・清掃」徹底プラン</p> <p>(1)挨拶の励行</p> <p>①教師の率先垂範(先に挨拶)</p> <p>②生徒会、委員会活動を通したキャンペーン等の取り組み</p> <p>(2)時間を意識した生活</p> <p>①教師の率先垂範(先に行動)</p> <p>②委員会、生徒会活動を通した呼びかけ等による時間への意識向上</p> <p>(3)清掃の充実</p> <p>①教師の率先垂範(協働)</p> <p>②委員会、生徒会活動を通した計画的な取り組み</p> <p>2 健康安全な生活向上プラン</p> <p>(1)健康な体づくりの充実</p> <p>①「早寝、早起き、朝ご飯」の励行による基本的な生活習慣の向上</p> <p>②疾病治癒率の向上</p> <p>■(2)食に関する指導の充実</p> <p>①栄養教諭と連携した、食に関する集会及び授業の展開</p> <p>②委員会活動を活用した、食に関する意識の向上及び集会の実施</p> <p>(3)命を大切にする教育の充実</p> <p>①道徳の授業を活用した、自他の命を大切にする教育の推進</p> <p>②避難訓練、交通安全指導等、自分の命を守る指導の推進</p> <p>■3 自治的活動の向上プラン</p> <p>(1)教職員の意識改革</p> <p>①生徒を前面に立たせ、裏方に徹する意識の向上を図る</p> <p>②リーダー育成のための3年間を見据えた系統的な指導</p> <p>(2)生徒自身の意識改革</p> <p>①失敗を恐れないチャレンジ精神を育成する</p> <p>②リーダーをサポートできる体制づくり</p> <p>③学年、学級での一人一人の生徒の存在感を意識した学年、学級経営</p>
----------------------------	--	---	--